



見 る 知 る

じぶんの「まち」を

ミルシル



出会う場所、つながる場所

「けやき館とか、花の丘のお知らせを見ながら、今月はこれに参加しよう、これも行かなくちゃ、なんて予定を立てているときから、楽しい時間がもう始まっているんです」

にこやかにそう話すのは、けやき館の編み物教室へ参加する小林さん。今月は他にも花の丘で行われる3B体操教室や、高根沢町の介護予防事業であるパワーアップ教室、社会福祉協議会が開催する元気はつらつ運動教室にも参加する。自宅のカレンダーは、予定の書き込みでいっぱいだそう。どうしてこんなに活動的なのか聞いてみる。

「全部、自分のため。世の中、怖いことも多いでしょう？いろいろな所に行って、そこで一緒になる人と友達になるの。日頃からつながりを多く作っておけば、いざという時に安心できるから」

この編み物教室は、高根沢町上柏崎にある「けやき館」で月1回開催される。けやき館は、住民がいつでも気軽に訪れて自由に過ごすことのできる常設型の「居場所」として、町内に2カ所設置されている施設のうちのひとつだ。「居場所」では、住民が自分の得意なことを生かして教室を開いたり、共通する趣味を持つ住民同士が集まって時間と場所を共有しながら活動したりできる。

「編み物教室なんて言っているけれど、ここは誰か先生がいるわけじゃないんですよ。ただ編み物が好きな人が集まって、わからないところなんかはお互いに教え合ったりして、楽しく過ごせると良いな

(裏面につづく) ←

と思つて。中には編み物はできないけれど、みんなに会つておしゃべりするのが楽しいって言つて、来てくれる人もいます」

教室の参加者であり、けやき館のスタッフも務める塚原さんが、活動の様子を教えてください。この教室には、10人以上の編み物好きが、自分の都合や予定に合わせて自由に出入りしている。塚原さんは、明るい笑顔で語りながら、こう続ける。

「名簿とかを作っているわけじゃないから、誰でも気軽に来てほしい。ただ、お金がかからないぶん、材料や道具は各自持参だけだね」

部屋を見渡すと、一人で黙々と作品を編み進める人、誰かが持つてきた編み物雑誌を囲んで、次はこれを一緒に編もうよと相談する人、編みあがったベストを試着してみる人など過ごし方はそれぞれだが、この空間を「編み物」という手仕事で緩やかにつないでいる。編み物は、家で一人でもできる。でも、楽しいことを誰かと共有すると、もっと楽しくなるから不思議だ。その誰かと出会える「居場所」の扉は、いつでも広くゆつたりと開かれている。

◆今回の取材先◆

編み物教室へ参加する皆さん。活動は月1回、けやき館にて。日程や参加方法は、けやき館に直接お問い合わせください。

【けやき館】

〈住所〉 上柏崎551番地
〈電話〉 676・3711



トレーニングジム並みの機材を好きな時間に好きなだけ利用できる（無料）。



クラフト体験やクラブ活動などへ参加する他、ゆっくりコーヒーを飲んだり、おしゃべりをしたり、過ごし方いろいろ。

「居場所」は町内に2カ所

～誰でも利用できて
活用方法はさまざま～

【料金】 無料。

※各種教室へ参加する際は、参加費や材料費がかかる場合あり。また、ドリンクや食事を注文する場合は有料。

【営業】 月曜日から金曜日

【送迎】 希望者には片道100円で送迎あり。

コミュニティcafe花の丘

〈住所〉 花岡1503番地9

〈電話〉 688-7951

〈時間〉 10時から16時30分

コミュニティケア けやき館

〈住所〉 上柏崎551番地1

〈電話〉 676-3300

〈時間〉 10時から16時



フェルトのバッグ作り



将棋の対戦



ヨガ教室

発行元 | 高根沢町生活支援コーディネーター
問合せ | 028-612-3440 (高根沢町社会福祉協議会)

これまでのミルシルをご覧ください

<http://www.takashakyo.jp/> (社会福祉協議会HP)



社会福祉協議会は“すべての人が住み慣れた場所で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域”の実現を目指しています。この情報紙では地域で輝いている人を紹介していきます。身近に“輝く人”をご存じの方は、ぜひご連絡ください。